

令和6年第4回東北町議会定例会会議録

令和6年12月10日（火曜日）午前10時00分開議

○議事日程（第2号）

日程第1 一般質問

---

本日の会議に付した事件

日程第1 一般質問

---

◎一般質問

○議長（岡山粕男君） 日程第1、一般質問を行います。

一般質問の通告は3名であります。

通告順に発言を許します。

2番、斗賀高太郎議員は、一問一答方式による一般質問です。斗賀高太郎議員の発言を許します。

〔2番 斗賀高太郎君登壇〕

○2番（斗賀高太郎君） みなさん、改めましておはようございます。2番、斗賀高太郎です。先ほどすごく高度な難解な一般質問だったので、この後だとちょっとやりづらいのですけれども、非常に分かりやすい、誰でも分かるような一般質問を心がけてお話ししますので、ぜひ聞いていただければと思います。本日は3事項、4つの質問をお伺いさせていただきます。

まず1つ目は、部活動の地域移行についてです。文部科学省のほうで部活動の地域移行のほう提言され、各自治体で非常に地域移行に関して難しい状況になっているかなと思いますが、東北町における東北中学校、上北中学校、両中学校における各部活動の地域移行の状況についてはどの程度進んでいるのか。また、全く進んでいない部活動は何か。地域移行が進まないのはどういった理由があるのかお伺いします。

2点目、地域移行に向けて、当町における今後の方向性についてお伺いします。

続いて、廃校の利活用についてご質問させていただきます。現在少子高齢化に伴いまして、廃校なども当町でも問題となっているかなと思います。また、耐震強度なども非常に危ぶまれる中、プラスやはり維持管理費というところに関しても非常に財政の圧迫にもつながっているのかなと思いますので、現在廃校となっている4つの学校の利用公募状況及び管理状況をお伺いします。

最後、3点目です。公共施設の統廃合及び維持管理費についてお伺いします。東北町でも人口減少や施設の老朽化が進んでおりますが、既存の施設の統廃合及び今後の維持管理についてお伺いいたします。

以上、3事項4つの質問です。よろしくお伺いいたします。

○議長（岡山粕男君） 町長。

〔町長 長久保耕治君登壇〕

○町長（長久保耕治君） それでは、斗賀高太郎議員のご質問にお答えをいたします。

一般質問通告のありました質問事項1の部活動の地域移行については、後ほど教育長より答弁をさせていただきますので、私からは質問事項2、廃校の利活用についてから答弁をさせていただきます。

質問要旨の現在廃校となっている4つの学校の利用公募状況及び管理状況をお伺いしますについてであります。現在廃校として管理している4つの旧小学校は、上北地区3小学校の統廃合により、旧第一小学校と旧小川原小学校の2校が、そして東北地区3小学校の統廃合により、旧千曳小学校と旧水喰小学校の2校が閉校となり、閉校と同時に教育施設の行政財産から普通財産に引き継がれ、廃校として管理している状況にあります。

両地区の小学校閉校時には、各地区において小学校跡地等利活用に関する意見交換会を開催し、また上北地区の2校が廃校となった後の平成29年8月には、広報、ホームページ等で活用方法の募集を行っております。

さらに、9月には、廃校利活用に係る公募型プロポーザル募集要項に基づき、ホームページにて、全国から利活用についての募集を行っております。

また、東北地区の2校が廃校になった後の令和元年8月には、利活用を広報、ホームページ等で意見募集を行っております。

その後は、継続して利活用について町ホームページで希望者を募集をしてい

るところです。

募集当初には、利活用に関する問合せが4件、現地視察が1件ありましたが、マッチングには至らず、その後は問合せもなく、いまだ利活用の方向が決定されていない状況にあります。

4つの旧小学校の利活用につきましては、廃校以降、施設の有効利用を考慮し、活用を希望する方を募っている状況は継続しているわけですが、廃校となつてから上北地区の旧小学校は7年、東北地区の旧小学校は5年が経過しており、徐々に荒廃や経年劣化がさらに進んでいる状況にあり、施設の安全管理上、破損箇所の補修及び除草などの最低限の維持管理を実施している状況であります。

現在、校舎や体育館は、新型コロナウイルス感染症対応等災害関連備品、土器などの出土品、町民から提供されたりサイクル用品の保管場所などとして使用している状況であります。

そのほかグラウンド等につきましては、ドクターヘリの離発着所、冬期間の排雪場所として地域に合わせた利用をしているほか、旧千曳小学校のグラウンドについては、上北自動車道整備工事に伴う発生土の一時堆積場所として供している状況であります。

地域の生活環境、安全対策及び土地の有効利用等を考慮すれば、この状況を継続するのではなく、今後有効利用を計画的に図っていかねばならない時期ではないのかと考えております。そのためには、段階的に建物の解体を行い更地化し、土地の有効な利用を図ってまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

次に、質問事項3、公共施設の統廃合及び維持管理についてお答えをいたします。質問要旨の東北町でも人口減少や施設の老朽化が進んでおりますが、既存施設の統廃合及び今後の維持管理についてお伺いしますについてであります。当町の公共施設は、人口急増期に当たる昭和40年代後半から多くの公共施設が整備されてきましたが、現在これらの施設は、建築後40年以上が経過し、老朽化が進行している状況にあります。

これまで施設の統廃合は、児童生徒数の減少に伴う小中学校の統廃合を行ってまいりましたが、そのほかの施設の統廃合は行ってきておらず、また今のと

ころ計画もない現状にあります。

これらの施設は、大規模な改修や建て替えなどの更新時期を迎えており、生産年齢人口の減少による税収の減少や高齢者の増加による社会保障経費の増加などにより、厳しい財政見通しであることから、保有する全ての公共施設をそのまま維持管理し、更新していくことは非常に困難であると考えております。

今後とも人口が減少する見込みであることから、常に将来を見据えて公共施設等の総量及び行政サービス水準の適正化に取り組み、真に住民に必要とされる施設づくりに努めなければなりません。限られた財源の中で、公共施設等の更新を適切に行う必要があるため、施設の老朽化状況や将来の在り方を踏まえながら、老朽化対策を計画的に推進し、安全性の確保と機能維持に努めていかなければならないと考えております。

そのためには、住民や民間事業者の創意工夫も取り入れながら、指定管理者制度の活用や長寿命化等を推進することで、既存の公共施設等の有効活用と維持管理の適正化に取り組み、維持管理費及び更新費用の縮減や施設機能の維持、向上に努め、住民サービスの低下を招かないように努めていかなければならないと考えております。

また、公共施設等管理計画に基づき、統合や廃合等の検討に当たっては、施設の利用状況や老朽化状況等を踏まえつつ、既存施設の有効活用を図る観点からも、余剰スペースを活用した複合化や利用需要の高い用途への転用も検討しながら、今後の利活用の見込みが低い施設は統廃合を検討していかなければならないと考えております。

こうした検討においては、必要に応じ、住民や利用者の要望、意見を参考に進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解賜りたいと存じます。

以上、答弁といたします。

○議長（岡山粕男君） 教育長。

〔教育長 長尾誠治君登壇〕

○教育長（長尾誠治君） 一般質問通告のありました質問事項1の部活動の地域移行についてお答えいたします。

質問要旨の両中学校における各部活動の地域移行についてはどの程度進んでいるのか。また、全く進んでいない部活動は何か。さらには、地域移行が進ま

ない理由は何なのかをお伺いしますについてであります。現在の地域移行の状況についてであります。東北中学校は完全に移行しているという部活動はなく、移行に向けて様々な取組を実践し、検討中としている部活動は、陸上部、スキー部、バドミントン部、ソフトテニス部となっております。移行していない部活動は、野球部、バスケットボール部、剣道部、吹奏楽部となっております。理由については、毎日指導できる人材が見当たらない、現在は学校単位での出場が可能となっていること、また初心者の生徒の受皿にもなっていることなどが挙げられております。

上北中学校では、完全移行している活動は柔道部、野球部となっております。地域の方々に指導いただき、おおむね移行している状況にはありますが、完全移行に向けて現在検討中であるという部活動は、卓球部、剣道部、水泳部となっております。移行していない部活動は、バスケットボール部、ソフトテニス部、バレーボール部、陸上部、吹奏楽部となっております。移行していない部活動の主たる理由は、移行したいが、地域に受皿がないというのが大きな理由となっております。

続いて、質問要旨2点目の地域移行に向けての当町における今後の方向性についてお伺いしますについてであります。今後の当町における方向性ですが、現在、国、県から示されている地域移行については、教職員の負担軽減も含め、休日に特化した形で地域移行できることから進めてくださいということになっておりますが、先般の報道では、2026年度からは平日でも地域移行を推進するという案が示されております。

それらのことを踏まえながら、年明けには2回目となる地域移行検討委員会を開催し、国、県の考え方を確認しながら、令和7年度中には関係者とさらなる議論を重ねながら、非常に難しいことではありますが、生徒、教職員、保護者等が納得のいく形のものをつくり上げていかなければならないと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

○議長（岡山粕男君） 斗賀高太郎議員。

○2番（斗賀高太郎君） ありがとうございます。現在の両中学校の状況は理解しました。また、今後の方向性も示していただき、ありがとうございます。

こちらに関しましてですが、先般ちょっと知事とお話をする機会があったときに、ぜひむつ市の状況を見てほしいと助言をいただきました。調べますと、むつ市では「むつ☆かつ」といった地域活動、地域クラブへの移行をかなり推進されていて、全国でもかなり進んでいらっしゃるのかなというのがありましたが、ぜひそういった近隣に地域移行を進めている自治体がある中で、視察するお考えなどがあるのか、お伺いします。

○議長（岡山粕男君） 教育長。

○教育長（長尾誠治君） 県内でもむつ市がいわゆる「むつ☆かつ」という看板を掲げて活動していることは承知しておりますし、県内でもいち早く地域移行への取組をされてきていることは認識しております。もちろんむつ市に限らず、同規模の町村での先進的な事例があれば、率先して視察に参りたいと思っておりますし、当町に合った形というものを同時に探っていくということも当然必要になってくると思っております。

○議長（岡山粕男君） 斗賀高太郎議員。

○2番（斗賀高太郎君） 回答ありがとうございます。もちろん東北町という規模に合った形での地域移行というのは非常に大事になるのかなと思いますが、むつ市とか大規模の部分でも、まねしていかなければいけない部分というのは非常にたくさんあるのかなと思いますので、ぜひご検討いただければなと思います。

また、先ほど教育長のほうからも答弁あったとおり、指導者の確保、受皿がないというようなお話があったと思うのですが、むつ市のほうでは指導者の人材確保のために、指導者人材バンクというものをつくって登録していただいて、生徒の指導に当たっていただいているようですが、当町もそのようなお考えはあるのか。

また、指導者となるためには、一定の資格等の取得の必要があるのかなと思いますが、そういう資格取得に向けた費用面の助成などについては、何かお考えはありますでしょうか。

○議長（岡山粕男君） 教育長。

○教育長（長尾誠治君） お答えします。

指導者の人材確保に向けては、町のスポーツ協会、また文化協会にお願いせ

ざるを得ない状況だと思っておりますし、指導者の資質についても、一定のレベルが必要となってくると思います。いわゆる日本スポーツ協会公認指導者資格も、中体連のコーチングをする場合には、一部競技によっては必須条件になっていますので、当然指導者育成に要する経費の助成については、今後検討していかなければならないものと考えております。

以上です。

○議長（岡山粕男君） 斗賀高太郎議員。

○2番（斗賀高太郎君） ありがとうございます。先ほど一般質問の中でもお話しさせていただきましたけれども、部活動の地域移行というのは、指導者の確保だったりとか、地域に実際スポーツ協会がないとか、いろいろ問題があって、どこの市町村もすごくご苦労されているのかなと思っておりますので、ぜひ視察等を重ねて、東北町に合った形で、どういったものかというのを検討していただいて、なるべく早く、やっぱり子供たちの指導者がいない、だからこの部活ができないということがないように、率先して取り組んでいただければと思います。こちらは要望して終わります。

続いて、小学校等の廃校の利活用についての部分での一般質問をさせていただきますが、先ほど町長からご答弁いただいたとおり、老朽化も進んできているということで、小学校を解体した場合の跡地についての利活用については、町は今後どのように考えているか、お答えいただければと思います。

○議長（岡山粕男君） 町長。

○町長（長久保耕治君） お答えをいたします。

利活用についてということでご質問がありました。まずは、何とかうまくマッチングを図りたいということで、ずっとずっと続けてきているうちに、もう老朽化をしてしまって、先ほどご説明申し上げましたように、もうこれは取壊しに向かわなくてはならないところと、何か利活用のまだ可能性があるものと2つに分かれているものと思います。

これに関しては、よく町づくりミーティング等でも、様々実は住民の方々からご心配をいただいたり、また何か取り壊した後はこういうのに使いたいのだというお話をいただくこともございます。それが例えばドクターヘリであったり、雪を置くところであったり、そういうふうなこともあります。また、廃校

になって校舎が老朽化をしても、体育館を利用している、そういった地域もあるというふうに私も伺っております。もう一度しっかり確認をした上で、使えるものと、もうこれは使えないもの、そういったのをしっかり振り分けながら、公共施設等を整備する計画もございます。あとは、各地域で、今お話ししたように、こういうのに使いたいなという意見も出るございますので、しっかりそういったことに耳を傾けて、その地域地域で有効的な活用をできるような、そういった手だてをしてまいりたいというふうに考えておりますので、ご理解賜りたいと思います。

○議長（岡山粕男君） 斗賀高太郎議員。

○2番（斗賀高太郎君） ありがとうございます。地域の方々からも意見が出ているということで、また今後も引き続き、どういったものかいいのか意見を募りながらということで、非常にいいのかなと思います。

施設の利活用についてなのですが、町のホームページ等でも希望者を募集しているとお話しいただきましたけれども、実際少し調べてみますと、文部科学省のほうで行っているみんなの廃校プロジェクトなどの取組があるので、そういったものを活用していく考えはございますでしょうか。

○議長（岡山粕男君） 町長。

○町長（長久保耕治君） 斗賀議員にお答えをいたします。

みんなの廃校プロジェクトに登録する以前に、東北東中学校に関しては、農協が再活用、利活用するというところで、本当にすばらしいマッチングが図れたなというふうに思っておりますし、当時の町長さん、また議会の方々の先見に対して敬意を表するところでございます。

その上で、やはりあの頃からもう、今年東北中学校が10周年だということで、私ちょっと呼ばれたりしたこともあったのですが、少なからずそういった統廃合からもう10年、15年たっているわけでございます。当然ずっと前に建った学校は、もう本当にぼろぼろになっていて、みんなの廃校プロジェクトも、私ちょっと資料を見させていただいたら、大変すばらしい活用されている。民間の方々が入ったりとか、あとは私がある町民の方に言われたことがあるのですが、そういったところを遊興施設として提供して、学校給食を食べさせたりしている、そういった施設に造り替えて再生しているところもあるのだというふうに

伺って、すごいなと思ったのですが、当町の学校の中では、やはりどうしても取壊しに向かわなくてはならないものが多い中で、旧水喰小学校に関してはまだ新しいというふうに私たちも理解をしております。

ともすると、みんなの廃校プロジェクトという、そういった企画に水喰小学校だけでも少し手挙げをして登録をしながら様々なご意見、またいろいろ見に来てくださる方々に内覧できるような形ができればなというふうにも思っておりますので、少しそういった手だてにも挑戦していきたいと思っております。

以上です。

○議長（岡山粕男君） 斗賀高太郎議員。

○2番（斗賀高太郎君） 答弁ありがとうございます。水喰小学校のほうは、まだ経過年数もそれほどたっていないので、みんなの学校プロジェクトというのは、東京のほうでですが、そういう廃校を活用したいという企業と実際に顔を突き合わせてのイベントなども開催されていらっしゃると思いますので、ぜひ登録していただいて、そういったところでもマッチングを図っていただければなと思います。

旧校舎の周辺だったり、あとグラウンド等の管理には、それなりに経費と労力がかかると思われるのですが、現在はどのように管理されているのかお伺いします。

○議長（岡山粕男君） 財政課長。

○財政課長（洞内一也君） それでは、斗賀議員のご質問にお答えいたします。

施設の維持管理につきましては、令和3年度まではシルバー人材センターに委託をいたしまして、旧4小学校の除草等の管理を行っておりましたが、令和4年度から組織機構の見直しに伴いまして、通年で用務員のほうを業務委託しております。その用務員に旧4小学校を含め、除草等の作業を行わせております。また、小破等の修繕につきましては職員等で対応いたしまして、極力経費がかからないような維持管理をしている状況であります。

以上、お願いいたします。

○議長（岡山粕男君） 斗賀高太郎議員。

○2番（斗賀高太郎君） ありがとうございます。なるべく経費がかからないようにということで工夫されているということは、非常にありがたいなと思いま

す。

ちなみになのですが、先ほど町長の答弁でもありましたが、廃校になってからかなり経年劣化が進んでいて、もう取り壊すしかないという状況の学校も多いということで、取り壊すとした場合、1校当たりどのぐらいの費用が想定されるのか。

また、4校を取り壊すとした場合、どのぐらいの期間を想定しているのかというところも、もし分かればお答えいただきたいなと思います。

○議長（岡山粕男君） 財政課長。

○財政課長（洞内一也君） 斗賀議員の質問にお答えいたします。

取壊しに係る費用につきましては、近隣の学校施設の取壊し状況等を参考にしまして、規模にもよりますけれども、1校当たり2億円から3億円程度は取壊しにかかるものと想定しております。

また、取壊しに係る費用につきましては、国、県等の補助がないのが現状でありますので、数年で取壊しをするといった場合には、多大な財政負担が予想されます。そのために、町の財政を極力逼迫しないように、償還時に交付税算入があります過疎地域持続的発展特別事業債を計画的に取壊しの財源として積み立てまして、段階的に取壊しを実施していきたいと思っております。

そういった場合に4校全て取り壊すとなりますと、20年以上の期間が必要となってくるのではないかと想定しております。

以上、答弁いたします。よろしく願いいたします。

○議長（岡山粕男君） 2番、斗賀高太郎議員。

○2番（斗賀高太郎君） ありがとうございます。人口が多かったときにあったものなのですけれども、どんどん人口減少とか少子高齢化が進んできて、閉校して維持管理費はかかってしまっているけれども、それぞれの町民の人たちに思い出のある場所かもしれません、施設が町としても地域としても負の遺産にならないように、どういった部分から先に壊していくのかという部分も含めて、早めの対応と有効な利活用の検討をお願いして、こちらの質問は終わらせていただきます。

最後3点目になりますが、地域の合併に伴って、両町の合併に伴いまして、旧町で所有していた施設をそのまま引き継いでいるので、両地区に同様の機能

を有する施設が幾つかありますが、これらの施設は人口減少に伴いまして、各施設の利用頻度、利用者が減少してきていると思いますが、今後どのように管理していくのか、お考えがあればお聞かせください。

○議長（岡山粕男君） 町長。

○町長（長久保耕治君） 斗賀議員にお答えをいたします。

斗賀議員がご指摘されたとおり、合併して、ほぼそのまま両地区に同じようなものが存在しております。先般の中学生議会のときに、人口がどれぐらい減ったのかと聞かれたときに、20年で、2万人強いた人口が1万6,000人余りに減ってしまったということもありました。

当然いろんな施設がある中で、まだ急に施設の統廃合を進めようとは思わず、むしろしっかりと維持管理をしながら、イベント等でうまく利活用するとか、以前中学生議会でもお話があったように、子供たちが遊べるようなスペースで開放するとか、複合的に施設をうまく利用していくようなところで今のところは考えております。

しかしながら、人口減少がこのまま続いていった場合には、やはり斗賀議員がおっしゃるようなことも考えていかななくてはなりません。そういったときに、将来を見据えて、どういうふうにやっていくか、また当然残すものはしっかり整備をしていかななくてはならない、そういった時期にも差しかかっておりますので、財政であったり、議員の皆さんと相談をしながら、しっかり精査しながら進めてまいりたいと思っておりますので、ご理解賜りたいと存じます。

○議長（岡山粕男君） 斗賀高太郎議員。

○2番（斗賀高太郎君） ありがとうございます。町長からお話しいただいたように、イベント等での利活用だったり、残すところはしっかり残していかなければいけないというのはもちろんなのですが、人口が減ってきているのに伴って利用者の減少、あとは使用料等の歳入も減ってきていて、ますます町財政の負担が大きくなるのかなと非常に懸念しております。

こういった場合に、今答弁にもあったように民間事業者の創意工夫も取り入れながらとか、指定管理者制度を活用していくということもお話しいただいたと思うのですが、今後予定している施設等は何かありますでしょうか。

○議長（岡山粕男君） 町長。

○町長（長久保耕治君） 斗賀議員にお答えをいたします。

指定管理者制度について、今指定管理者制度を取っていない施設については、今のところそれを適用するという計画はありませんが、以前に宝湖館のほうであつたりを民間の方がぜひ指定管理、自分たちに経営させてくれと来た例もございますので、そういった部分を将来のことを鑑みたときに、どういったことができるか。また、指定管理が可能な施設であれば指定管理をしてまいりたいと思いますし、先ほど申し上げたように施設に対して新たな利活用をできるようなものがあれば、皆さんから意見をお伺いして、そういったこともどんどん、どんどん導入していければなというふうに思っています。

時代とともに、やはりニーズが変わってきております。そのニーズを的確に行政として判断をして進めていくことが、今後より必要だと思われておりますので、その際には議員からもいろいろとご意見をいただければと思っておりますので、ご協力方よろしくお願いいたします。

○議長（岡山粕男君） 斗賀高太郎議員。

○2番（斗賀高太郎君） 回答ありがとうございます。

最後、要望にはなりますが、今後施設の統廃合を行っていく場合に、住民サービスというところは停滞しないように配慮していただきながら、町民バスだったり利活用していただきながら進めてくださるようお願いして、私の一般質問を終わらせていただきます。